

2023年5月吉日

「水系スーパーUVコートクリヤー」施工上の注意点について

菊水化学工業株式会社

水系スーパーUVコートクリヤーS i・Fは、製品の特性（水性クリヤー、遮熱顔料、艶消し剤）において、塗装時の仕上げムラが発生しやすい製品ですが、施工上で幾つか注意することで仕上げムラを回避できるためご案内いたします。

仕上げムラは、塗膜が厚くなった場合やローラー施工時の泡噛みによって発生し、下地が濃色であることや塗り継ぎ部分において、その現象が目立ちやすくなります。

また、ムラとともに、遮熱顔料の艶感が目立つことから、遮熱顔料の沈降分離も要因とされていますが、遮熱顔料が特別沈降分離しやすいわけではなく、従来の水性クリヤー同様に、施工前の材料攪拌を十分にご使用いただければ問題ございません。

【対策】

○ウールローラー施工の場合

- ・膜厚を均一にするためには、ハイパイル（綿毛）ではなく、ウーブン（糸毛）の使用を推奨します。※添付の写真をご確認ください。
- ・塗り継ぎによる仕上げムラを防ぐためには、出隅・入隅・目地などを塗り継ぎ箇所として、できるだけ面を通して施工して下さい。

以 上

		水系スーパーUVコートクリアー 艶消し	
工 具	ウールローラー工法 ウーブン (糸毛)	ウールローラー工法 ハイパイル (綿毛)	
工 程			塗装順序 塗り継ぎ箇所
サ イ デ ィ ン グ			
フ ラ ツ ト 面			

以上